

しづさわけんぽ

2022
AUTUMN

No.227



新潟県 当間高原のコスモスの花畑 / 提供: アマナ

澁澤健康保険組合

令和3年度 決算のお知らせです

去る7月15日、東京都江東区永代2-37-28「澁澤シティブレイス永代」にて開催された第123回組合会において、令和3年度決算が承認され決定しましたのでご報告いたします。

一般勘定

収入合計	769,126千円	(前年度比7.09%減)
支出合計	631,059千円	(前年度比1.30%減)
収支差引額	138,067千円	⇒
	繰越金	60,000千円 (次年度へ繰越)
	財政調整事業繰越金	13千円 (/)
	別途積立金	78,054千円 (積立)
<経常収支>	△7,051千円>	

当健保組合の一般勘定の令和3年度経常収支は前年度比10,330千円減の7,051千円の赤字決算となりました。

その主な内容は、前年度との比較で見ると、収入では、平均標準報酬月額が増加しましたが被保険者数および総標準賞与額の減少により、健康保険料収入が20,424千円減収となり、また特定健診等事業収入も239千円減りました。

一方、支出では、保険給付費が29,017千円増加、後期高齢者支援金が4,403千円増加しましたが、前期高齢者納付金が41,910千円的大幅減少に加え、事務所費が990千円、保健事業費も637千円減少となりました。その結果、経常収支は前年度比10,330千円の赤字となりました。

収入

(千円)

科目	令和3年度決算額	令和2年度決算額	前年度比	内容
健康保険料収入	607,872	628,296	-20,424	法155条保険料
調整保険料収入	8,017	6,224	1,793	法附則2条3項調整保険料
繰越金	130,000	110,000	20,000	前年度歳計剰余繰越金
別途積立金繰入	0	30,000	-30,000	別途積立金からの繰入金
財政調整事業交付金	7,589	5,621	1,968	高額医療交付金
特定健診等事業収入	4,728	4,966	-238	特定健診の事業主受託料
国庫補助金収入	7,464	39,214	-31,750	支援金等負担助成事業分に係る受入金他
雑収入(利子収入)	371	368	3	財産から生じる利子
雑収入(その他)	3,085	3,128	-43	法定定期健診の事業主受託料等
収入合計	769,126	827,817	-58,691	

支出

(千円)

科目	令和3年度決算額	令和2年度決算額	前年度比	内容
事務所費	23,188	24,178	-990	事業運営事務費
組合会費	4	4	0	組合会運営費
保険給付費(法定)	301,535	273,473	28,062	所要財源率48.99%
保険給付費(付加)	3,866	2,911	955	
前期高齢者納付金	123,661	165,571	-41,910	所要財源率20.09%
後期高齢者支援金	136,862	132,459	4,403	所要財源率22.24%
病床転換支援金	1	1	0	
退職者給付拠出金	4	5	-1	
保健事業費	33,656	34,293	-637	
財政調整事業拠出金	8,004	6,210	1,794	
雑支出(その他)	278	270	8	
支出合計	631,059	639,375	-8,316	
決算残金	138,067	188,442	-50,375	
経常収支	-7,051	3,279	-10,330	
法定準備金残高	203,257	203,257	0	
別途積立金残高	497,773	419,719	78,054	

介護 勘定

収入合計	84,797千円	(前年度比 5.02%増)
支出合計	80,361千円	(前年度比 8.46%増)
収支差引額	4,436千円	介護準備金に積立



介護勘定は、介護保険料を負担する被保険者が減少しましたが、介護保険料率が千分の2増加したことにより、介護保険料収入は前年度比7,054千円増加し、79,797千円となりました。一方、支出である介護納付金は80,361千円となり、準備金5,000千円を繰り入れた結果、決算残金は4,436千円となりました。

科目	令和3年度決算額	令和2年度決算額	前年度比	内容
収入	84,797	80,743	4,054	介護保険料他
支出	80,361	74,090	6,271	介護納付金
決算残金	4,436	6,653	-2,217	
介護準備金残高	24,576	25,140	-564	

\ お知らせ /

下記の件につきまして、令和4年7月15日開催の第123回組合会で報告し、賛成を得ましたので、お知らせいたします。



個人情報保護管理規程一部変更の件

個人情報保護法の改正及び「オンライン資格確認」のレセプト振替機能の導入により個人情報の利用目的を更新するため個人情報保護管理規程の一部を変更しました。



令和3年度予算流用の件

令和3年度予算執行において予算額に不足が生じた科目については他の予算科目より流用しました。

新組合会議員が決定

組合会議員の任期満了に伴い、令和4年6月30日付で新議員が選出され、また、同年7月15日付で各役員が決定しましたので、お知らせいたします。

(敬称略)

氏名	所属事務所	役職名	氏名	所属事務所	役職名
倉谷伸之	澁澤倉庫(株)	理事長	山田政和	澁澤倉庫(株)	議員
真鍋雅信	澁澤倉庫(株)	常務理事	籾 浩志	澁澤倉庫(株)	議員
吉田貴之	澁澤倉庫(株)	理事	山本啓子	澁澤倉庫(株)	議員
山田理恵	澁澤倉庫(株)	理事	金 慶一	澁澤倉庫(株)	議員
白壁秀哉	澁澤陸運(株)	理事	本橋昌臣	澁澤陸運(株)	議員
佐藤 忍	澁澤ファシリティーズ(株)	理事	佐々木哲也	澁澤陸運(株)	議員
工藤慎二	澁澤倉庫(株)	監事	澄川 勝	澁澤陸運(株)	議員
山村和史	澁澤倉庫(株)	監事	森 進	システム物流(株)	議員

令和3年度 保健事業

予算科目	事業分類(注1)	事業名	事業の目的および概要	対象者					実施状況・時期			評価(注2)
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者	実施状況・時間	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
特定健康診査事業	3	特定健康診査	未受診の被扶養者に対するアンケートの実施により、被扶養者の状況を把握。自治体やパート先等で受診済みの方に対しては、健診結果提出を依頼する。アンケートについては事業主協力の下実施する。	被保険者・被扶養者	全て	男女	40～74	全員	●対象者をデータより抽出した上で、事業主の協力の下、未受診の被扶養者に対するアンケートの実施、被扶養者の状況を把握した上で下記を実施した。 ・健診未受診者への健診受診勧奨DM発送(今年度もコロナのため、全員へ送付せず、問い合わせのあった方へ通知) ・自治体やパート先等で受診済みの方に対して健診結果の提出を依頼	被扶養者健診の通知送付の際に受け取らない場合は結果を送付してもらおうよう依頼する内容の手紙を同封。	今年度も巡回健診で被扶養者の受診を中止した。被扶養者へのアプローチが課題。	3
	4	特定保健指導	モデル実施の導入について再検討	被保険者・被扶養者	全て	男女	40～74	全員	・委託業者による健診時初回面談を実施した。(被扶養者に対しての実施) ・特定保健指導対象者で未参加の方に対して、事業主と連携し参加勧奨を実施した。	特定保健指導対象者すべてに参加勧奨案内を送付した。	被扶養者に関しては委託業者による健診時初回面談を予定したが、対象者はいなかった。無関心層へのアプローチが行き届いていない。	1
保健指導宣伝	2,5	情報提供事業	継続実施	被保険者・被扶養者	全て	男女	18～74	全員	予定通りに実施し、健診の結果についての啓発資料を健診結果とともに発送した。	定例で情報発信を行った。	特になし	5
	2	情報提供事業(ポピュレーション)	継続実施	被保険者・被扶養者	全て	男女	18～74	全員	実施予定通りの実施の他、コロナに関して健保組合事務所通路に掲示を行った。	計画通りに実施できた。	今後も内容の充実を目指す。	4
	7	後発医薬品の使用促進(希望カード・シールの配布)	改めて全員に再配布を実施する	被保険者・被扶養者	全て	男女	18～74	全員	通年で後発医薬品変更シールの配布を希望者へ行った。(貼り付けは未実施)	希望者全員にシールの配布を実施した。	マンパワー不足により再配布およびシールの貼り付けができなかった。	2
	7	後発医薬品の使用促進(差額通知の実施)	継続実施	被保険者・被扶養者	全て	男女	18～74	全員	計画通りに実施した。(効果検証:対象者へアンケートを実施、通知の効果を測った)	計画通りに実施し、一定の反応が加入者から得られた。	まだ改善余地があるため、通知送付と加入者対応を継続する。	4
	4	保健指導・健康相談	継続実施	被保険者・被扶養者	全て	男女	18～74	全員	健康相談室での相談等は例年通り実施できたが、依頼先への訪問ができなかった。	特になし	引き続きコロナ感染症の影響が大きい。	4
疾病予防	4	受診勧奨	継続実施	被保険者・被扶養者	全て	男女	40～74	全員	特定健診結果データから勧奨対象者を抽出し、対象者に受診勧奨を実施。その後の受診有無の確認を行った。	対象者全員に実施した。	受診勧奨は全員に行ったが、受診率は100%ではなかった。	5
	4	糖尿病性腎症等重症化予防	継続実施	被保険者・被扶養者	全て	男女	18～74	全員	対象者を抽出して指導を実施した。	対象者2名が実施中。	業者のやり方として、1回対象となった方は再度の実施はできない仕組みになっているため、2回目以降も実施できるよう業者と相談が必要。	1
	3	健診結果の情報提供	継続実施	被保険者・被扶養者	全て	男女	18～74	全員	要精密検査の方をデータから抽出し、健診結果に対する情報提供を実施した。	遅滞なく実施できた。	特になし	5
	3	がん検診の実施	継続実施	-	全て	男女	40～74	基準該当者	20歳以上に子宮頸がん(自己採取)を実施した。	健診結果とは別に各個人へ通知を実施。電話での催促も実施した。	病院に行くことも、自身で検体採取もハードルが高く受診に至らない方が多かった。	4
	3,4	がん検診(受診の確認)	継続実施	被保険者・被扶養者	全て	男女	20～74	全員	精密検査対象者をレセプトデータ等から保健師が確認し、対象者へ受診勧奨を実施。その後の受診有無の確認を行った。	遅滞なく実施した。	特になし	5
	4	がん検診の受診勧奨(市町村実施分)	継続実施	被保険者・被扶養者	全て	男女	20～74	全員	保健指導時に実施。	保健指導時および機関誌等で積極的に啓蒙	特になし	4
	3	歯科健診	コロナウイルス感染症の影響を鑑み、WEB問診サービスの導入を継続検討	被保険者	全て	男女	18～74	全員	実施機関と検討は行ったが実施に至らなかった。	特になし	被保険者全員を対象とする場合、実施が困難。	1
	4	歯科保健指導	歯科健診の結果に基づき、情報発信を検討。	被保険者	全て	男女	20～74	全員	実施できなかった。	特になし	歯科健診の実施を検討。	1
	4	歯科受診勧奨	継続実施	被保険者・被扶養者	全て	男女	18～74	全員	実施できなかった。	特になし	歯科健診の実施を検討。	1
	3	インフルエンザ補助金制度	継続実施	被保険者・被扶養者	全て	男女	18～74	全員	例年通りの実施件数となった。	事業主とも連携して広報を行っている。	事業主の一部が会社補助を行うことになり、件数・金額の増加は限られる。	4
体育奨励	5	こころの健康づくり	継続実施	被保険者・被扶養者	全て	男女	18～74	全員	健康相談に占めるメンタルの件数が増加している。	引き続きコロナ感染症の影響が考えられる。	特になし	4
	5	喫煙対策事業	継続実施、事業主への協力を打診	被保険者・被扶養者	全て	男女	18～74	全員	定期機関誌等での周知を継続して実施。	全体的には一定の効果は上がっているが、事業所によっては喫煙者が増加している。	新規加入者で喫煙者が多いのが課題。	2
	5	前期高齢者周辺訪問指導	継続実施	-	全て	男女	60～74	その他	具体的取組には至らなかった。	後発医薬品使用勧奨に関しては年齢を区切らず実施をしているため、送付している。	具体的取組方法を検討中。	1
	3,4	生活習慣病予防	継続実施	被保険者・被扶養者	全て	男女	18～74	全員	健診結果データより専門職者が要精密検査者を抽出し、対象者に通知を行った。健診結果に対する情報提供を実施。	39歳以下の被保険者に対し専門業者による健康指導を実施。	若年層の健康に関する意識の低さが課題。	4
	5	健康増進事業	継続実施	被保険者・被扶養者	全て	男女	18～74	全員	コロナ感染症が継続しており利用件数が少ない。	特になし	コロナ感染症の影響が大きい。	1
その他	3	特定健診データの被保険者間の連携	事業主においても同業種での集まりの際に、データを持ち寄り、協同して傾向分析をしてもらうよう依頼を検討	-	全て	男女	40～74	基準該当者	協同事業実施までは実施に至らなかった。	実施のないため特になし。	実施のないため特になし。	1
予算措置なし	1	職場環境の整備(事業主・健保)	継続実施	被保険者・被扶養者	全て	男女	18～74	全員	予定通り実施した。	事業主の協力の下、月1回の衛生委員会に参加。	ほぼ対面で開催することができた。	5

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識付け 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業
注2) 1. 40%未満 2. 40%以上 3. 60%以上 4. 80%以上 5. 100%

Special Interview

今日も
笑顔を

辻本好美さん 尺八奏者

休日は自然のある所へ出掛け
心と体をフル充電します！

音に想いを込めて

つじもと よしみ / 1987年、和歌山県生まれ。東京藝術大学音楽学部にて在学中から注目を集める。卒業後は、女性ソロ尺八奏者として本格的に活動を始め、アメリカ、イタリア、フランス、ブラジルなど世界各国から招致され、24ヵ国33都市で公演を行った。現在もライブ活動を中心に日本の伝統楽器である尺八の魅力を広く伝える活動を続けている。

尺八は、父親がたしなんでいたおかげで子供の頃から身近な存在の楽器でした。その音色の美しき、演奏する楽しさに魅力を感じていただけでなく、他の人があまりやらないことに挑戦したいという思いが強く、尺八奏者を目指しました。演奏には一般的に肺活量の多い男性の方が有利なのですが、大切なのはいかに効率よく息を使うことができるか。女性らしく艶やかに、時には男性に負けないくらい力強く、深みのあるパフォーマンスができるように、息の使い方や工夫を重ねる練習を続けてきました。心肺機能を維持するため、水泳もトレーニングの一つとして続けています。

食べることは大好きで、食事は毎回しっかりと取っています。自宅でも外出先でも栄養バランスを考えますが、ストイックになり過ぎないように心掛けています。自分の気持ちに素直に、時にはジャンクフードを口にするのも、とにかく楽しく、幸福感に満たされるような食べ方をしたいと思っています。

お休みの日は、よく自然のある所へ出掛けています。山に登ったり、絶景スポットを訪ねたり、自然の中に身を置くだけで、たくさんエネルギーをもらえる気がしています。そんな場所で吹く尺八もまた格別です。良い音色が出せているかどうか自分に問いながら、心と体をフル充電しています。